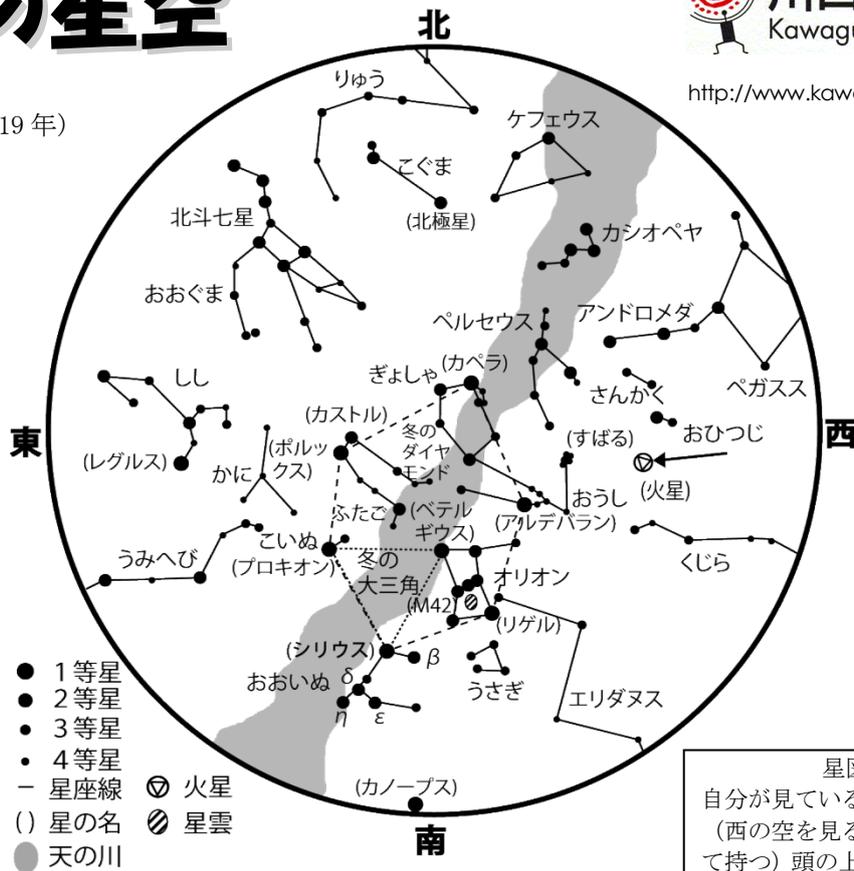


今月の星空

2月 (2019年)

上旬 21 時頃
下旬 20 時頃



星図の見方
自分が見ている方角を下にして、
(西の空を見るときは西を下にして持つ) 頭の上にかざして見ます。

月 齢 ● 新月 5日、⊙ 上弦 13日、○ 満月 20日、⊚ 下弦 26日
惑星情報 火星 夜のはじめ頃 西 (うお座→おひつじ座 1等級)

★全天で一番明るい恒星 シリウス～星の明るさと等級～

南の空に冬の星座が昇り、見ごろを迎えています。中でも一番明るい星は、おおいぬ座のシリウスで、 -1.5 等級の明るさがあります。おおいぬ座ではシリウスに目が行きがちですが、ベータ(β)星… 2.0 等、デルタ(δ)星… 1.8 等、イプシロン(ϵ)星… 1.5 等、イータ(η)星… 2.5 等など、街中でも見える明るい星が多くありますので、オリオン座や冬の大三角とともに見つけてみましょう。

星の明るさは、1等星、2等星など「等級」を用いて表します。これは、紀元前2世紀頃、ギリシャの天文学者ヒッパルコスが用いたのが始まりです。夜空に見える最も明るい星たちを1等星、暗くなるに従って、2等星、3等星、肉眼で見える最も暗い星たちを6等星として6段階に分類しました。

星の明るさを詳しく測定できるようになった現在では、シリウス(-1.5 等)のように、小数を使ったり、非常に明るい星には負(マイナス)の数を使ったりして細かく表せるようになりました。

※星座早見や星図などでは、1等星よりも明るい星でも1等星と表記する伝統的な分類も使われています。

恒星の明るさベスト10 (上記星図内)

理科年表 平成30年より

- | | |
|----------------------------|-----------------------------------|
| 1位 シリウス (おおいぬ座 -1.5 等) | 6位 ベテルギウス (オリオン座 0.5 等) |
| 2位 カノープス (りゅうこつ座 -0.7 等) | 7位 アルデバラン (おうし座 0.9 等) |
| 3位 カペラ (ぎょしゃ座 0.1 等) | 8位 ポルックス (ふたご座 1.1 等) |
| 4位 リゲル (オリオン座 0.1 等) | 9位 レグルス (しし座 1.4 等) |
| 5位 プロキオン (こいぬ座 0.4 等) | 10位 おおいぬ座 ϵ 星 (1.5 等) |

ワンポイント～1等星は2等星、3等星…の何倍明るい？～

ヒッパルコスが用いた等級を発展させたのが、19世紀のイギリスの天文学者ポグソンです。1等星の明るさは6等星のちょうど100倍になる(5等級の差は明るさが100倍違う)ことから、1等級上がるごとに、約2.5倍(100の5乗根)明るくなるという、等級と明るさの関係を定式化しました。

等級 [等級差]	1 [5等差]	2 [4等差]	3 [3等差]	4 [2等差]	5 [1等差]	6
明るさ	100 (2.5^5)	40 (2.5^4)	16 (2.5^3)	6.3 (2.5^2)	2.5	1